

山梨の未来を変えよう リニア中央新幹線



甲府盆地を走るリニア（笛吹市・花鳥山から）

2027年に東京都・名古屋市の間の開業が予定されているリニア中央新幹線。昨年からは山梨リニア実験線での走行試験が再開され、その超電導リニアを間近で見学できる山梨県立リニア見学センターが、4月下旬、リニューアルオープンしました。

私たちの未来を大きく変えるリニアを体感し、楽しみながら学習できる『どきどきリニア館』を、本県出身のタレントマキタスポーツさんがレポートします。

世界最高速度を誇る リニアモーターカー

「リニアモーターカーといえば、子どもの頃から夢の乗り物。今日はその頃に戻った気分で、朝からワクワクしています」と話すマキタさん。1階フロアに入り、最初に目に飛び込んできたのは、実物大の試験車両。（写真①）

「うわあーすごい、リニアだ！」思わず駆け寄り、喜々とした様子で触りながら、「まさか本物じゃないですよ？」と尋ねるマキタさんに、「いえいえ、平成15年

走ってる
リニア
見てみるし！



動画で見てみよう！マキタスポーツさんのレポート

- ①スマートフォンまたはタブレットに「junaio」のARアプリをダウンロード（無料）
- ②アプリを起動 ③この写真にかざしてスキャンボタンを押すと動画が始まります。

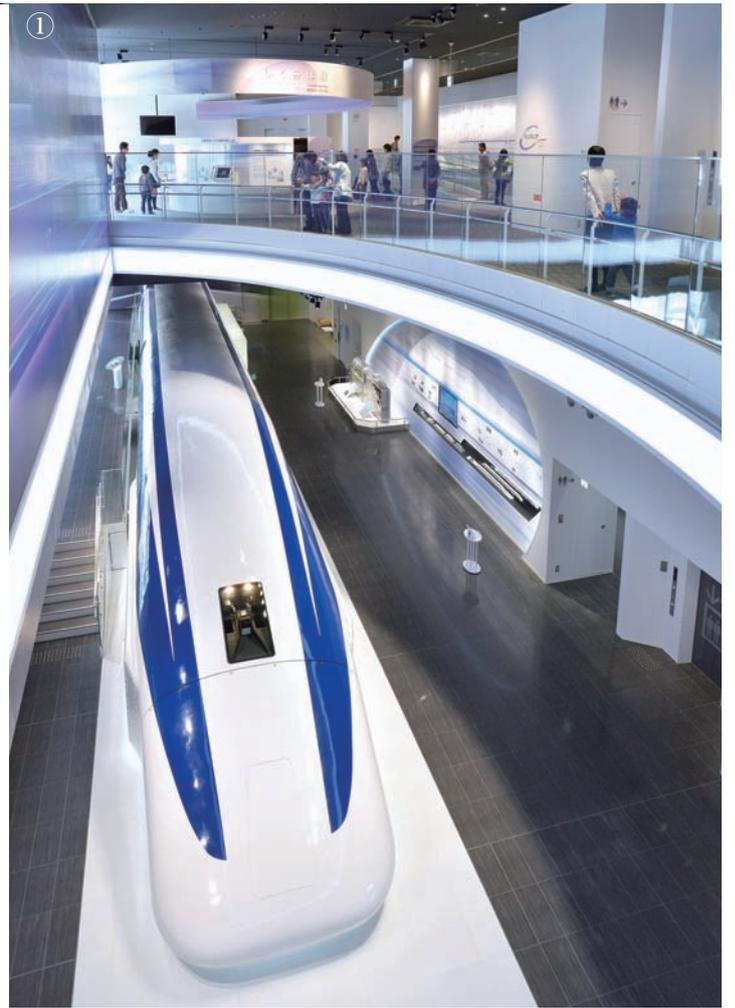


12月2日に世界最高速度 時速581^キロを記録した、本物の車両・MLX01-2です」とガイドさんが笑顔で答えます。早速乗り込むと、「意外と広いですね。これまで試行錯誤を重ねて、今の形になったんですね。うーん、13年後の開業時にはどんな姿で山梨を走り抜けるんだろう」と想像が大きく広がります。

リニアの心臓 超電導を体験学習

続いて2階フロアに。リニアの心臓部ともいえる超電導について、体験装置や実験を通して学ぶことができます。

まずは、ミニリニアに乗って浮上走行を体験。「乗った瞬間、浮いているのが分かったよ。気持ち良いね!」と、まだまだ乗っていたい様子です。(写真②)



超電導の仕組みについても興味津々。特性を装置で体験学習したり、日本独自の技術に関する説明にじっくりと聞き入ります。レバーを回す力で時速が表示されるので、リニアの模型が浮上する装置の前で、「よし、500^キ出すぞ!」と、子どものように夢中で回します。(写真③) さらに、超電導実験が始まると、ひねりや回転、急カーブが組み合わされた複雑なコースを、空中に浮いたまま模型が走行する超電導コースターにきぎ付け。「面白いねえ! ちょっと僕にもやらせてもらえませんか?」と飛び入り参加。「超電導って難しそうだけど、これはすごく分かりやすいね」。その目はまるで少年のようにキラキラと輝いています。(写真④⑤)

リニアが走る山梨の未来を、一足先に体験!

歴史を学び、技術に触れて、ますますリニアへの期待が高まってきたマキタさん。3階では、リニア中央新幹線開通後の山梨を描いた巨大なジオラマに「これはすごい!」と大歓声。走り抜けていく車両模型に「あつ、あつさじやん。こちらは身延線だあ。比べてみると、やっぱりリニアは速いなあ」。映像に合わせて模型が動き、山梨の春夏秋冬が映し出される



ジオラマショーを楽しみながら、宝探しの
ように懐かしい風景を探すうち、気分は
山梨で過ごした学生時代に。思い出話も
飛び出しました。

「いよいよ走行試験の時間になりました。
「リアルリニアだ！」と見学テラスへ急ぐマキタ
さん。ワクワク感も最高潮に達しています。

「リニアは、線路じゃなくてガイドウェイ
を走るんだね」と習ったばかりの知識を
確認するマキタさん。「まだかな?」「もう
来るかな?」と、ワクワクしながらリニア
を待ちます。時折モニターで、どの辺りを

何キロで走っているのか確認し
ています。やがて「ゴォー」と風
を切る音が聞こえてきまし
た。「来る、来る、来たー」。瞬
で走り抜けた初リニアに、し
ばし無言。そして「うわああ」と、歓声。「速いーそして、静か
だね!」と、大興奮でした。

山梨らしい風景の中に、
超最新鋭技術のリニアが走る
なんとも言えずいいですね

子どもの頃、夢に見たリニア。実はとて
もエコでシンプルな超電導で動いていると
いうことを、今日は楽しく勉強させても
うりました。すごく面白かったので、ぜひ
うちの娘たちも連れてきたいですね。

正直、13年後に開通と言われても実感
がなかったのですが、こうして直に触れて
みるといよいよなんだなど。僕の中でカウ
ントダウンが始まりました。もともと魅
力のあるものをたくさん持っている山梨で
すが、リニアの開通によってますます人も
集まるようになり、ビジネスや観光の拠
点ができるなど可能性も広がること
でしょう。離れていると分かりますが、山
梨は素晴らしい県。県民の皆さんはもつと
誇りを持っていいと思います。

これからも、こぴっと応援続けていくけ
ん、頑張れし!



ミュージシャン・俳優

マキタスポーツさん

Makita Sports

本名 横田雄司(まさた ゆうじ)。1970年1月25日山梨市生まれ。県立日川高校・国士館
大学卒業。芸名は、山梨市内で父親が営んでいた「マキタスポーツ」の屋号を受け継い
だもの。28歳で芸人デビュー。卓越した歌唱力を誇り、音と笑いを融合させた新しいスタ
イルを追求している。一方で、映画「苦役列車」ではブルーリボン賞新人賞を受賞。以来
俳優としての評価も高まり、「ルーズヴェルト・ゲーム」や、NHK連続テレビ小説「花子とア
ン」などに出演。「花子とアン」では、新米教員として奮闘する花子を、温かく時に厳しく指
導する校長先生を、甲州弁で熱演している。

リニア中央新幹線計画

全国新幹線鉄道整備法に基づき、平成23年5月に国土交通大臣が整備計画を決定した「中央新幹線」。東京都・大阪市間を最高速度505キロの超電導リニアモーターカーで走行し、甲府市付近、名古屋市付近を経由することになっています。現在進められている環境影響評価を経て、国から工事実施計画が認可された後に着工されます。平成39年には、東京都・名古屋市間の開業を予定しており、本県と主要都市との所要時間は、東京・品川まで約25分、名古屋まで約40分と現状より大幅に短縮されます。終点大阪まで完成すれば、東京都・大阪市間は約1時間で結ばれることとなります。

Check Point!

粛々と進められてきた50年間 日本独自の技術開発

昭和37年、東京～大阪間1時間を目標に、新幹線の次の超高速鉄道としてリニアモーター推進浮上式鉄道の研究を開始。昭和47年には、旧国鉄・鉄道技術研究所でML100が初めて浮上走行に成功しました。



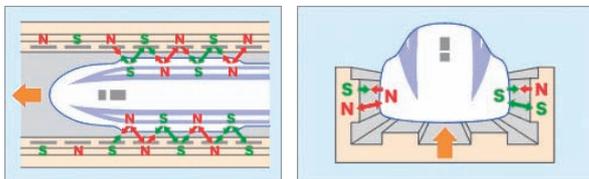
その後、宮崎県日向市の浮上式鉄道宮崎実験センターでの走行試験を経て、平成9年4月、山梨リニア実験線(先行区間18.4キロ)での走行試験を開始。時速500キロ以上の走行を実現しました。走行技術、車両ともに開発、改良を重ねた結果、平成17年3月、「実用化の基礎技術が確立したと判断できる」との評価が超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会より発表され、リニア新幹線実現に向けた動きが加速。平成25年8月29日、山梨リニア実験線42.8キロでの走行試験を開始し、営業を見据えた新型車両での走行試験が行われています。

Check Point!

環境保全とスピードを両立するリニアの技術

車両に搭載された超電導磁石と地上に設置される推進コイル。それらが引き合う力と反発する力を利用して車両を進行させます。また、車両の超電導磁石が高速で通過すると、地上側のコイルに電流が流れて電磁石になり、車両を押し上げる力と引き上げる力が発生するため、車両は浮上走行します。

騒音や振動が少なく、他の交通機関に比べて二酸化炭素の排出量も少ないため、沿線環境への影響を最小限に抑えることができる交通手段といわれています。



出典:リニア中央新幹線建設促進期成同盟会ホームページ

プレゼント
キャンペーン
実施中

リニアファンクラブ サポーター募集中!

リニア中央新幹線の早期実現を図るために設立した「山梨リニアファンクラブ」では、サポーターを募集しています。サポーターには、メールマガジンでリニア関連情報を提供。9月30日までに新規会員登録いただいた方の中から、抽選で10名の方に、特製リニアグッズをプレゼントします。

【問い合わせ先】

リニア推進課 TEL 055-223-1664 FAX 055-223-1666

リニアファンクラブ

検索

山梨県立リニア見学センター

- 開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
 - 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌火曜日、火曜日が祝日の場合は開館) 祝日の翌日(祝日の翌日が金・土・日曜日の場合は開館)、年末年始(12/29～1/3)
 - 料金 一般・大学生420円 高校生310円 小中学生200円 未就学児無料 ※団体割引あり
 - 駐車場 無料(一般駐車場140台、障害者専用駐車場あり。バス待機所20台)
- 都留市小形山2381 TEL 0554-45-8121 FAX 0554-45-8122

リニア見学センター

検索

